

ご意見の概要と本市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	本市の考え方
1	総合戦略	<p>市長等による県内外でのトップセールスの実施（11ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 私も一緒に連れて行ってほしい。もう場所は決まっているのか。（東京目黒区ならいいところを知っている。） ○ トップセールスに、12ページの山村女性リーダーも一緒に連れて行く。 ○ 20ページの温泉への誘客、ウォーキングコース等をトップセールスする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施場所については、青森県や農協など関係機関と調整のうえ決定しております。また、産品によって関係者からトップセールスに同行する人を決定しておりますが、事業の実施時期等に応じて検討して参ります。 ○ トップセールスの実施時期や実施場所、さらに農山村女性リーダーの都合も確認のうえ可能性を検討いたします。 ○ 温泉への誘客に対しては、全国の旅行エージェントを参集したキャンペーンや県内外のイベントにおいて、市長はりんご・祭りと同様に温泉郷も黒石市の魅力として紹介しておりますが、今後はこれまで以上に機会を広げトップセールスを推進して参りたいと考えます。 <p style="margin-left: 2em;">また、ふるさと自然のみち（ウォーキングコース）については、新年度からの指定管理者も決まり、ふるさと自然のみちを見直したいと考えています。新たなコースが決まり次第、県内はもとより県外に向けたトップセールスも含めたPR方法を検証し、情報発信していきたいと考えます。</p>

		<p>※ 空港が近いので、空港利用のお客様、外国人の方へ観光案内。黒石だけでなく、平川市・藤崎町・田舎館村等と一緒に観光案内を作ってみてはどうか。</p>	<p>※ 外国人向け観光案内をはじめインバウンド対応については、県が主体となって自治体や観光関係団体が協力し、本県への海外チャーター便やクルーズ船へのお出迎えや案内対応を実施しております。観光分野の連携については、単独での売込みより費用対効果は大きい部分もあるため、近隣市町村の他、JR等民間団体に組織する協議会や域内観光協会等で組織する津軽地域観光団体事務局連絡会議などで、域内の情報交換や観光情報の共有、連携を図っており、より一層誘客拡大に向けて取り組んで参ります。</p>
2	総合戦略	<p>Iターン、Uターン促進のための相談窓口・ホームページへの情報コーナー開設（22ページ）</p> <p>○ IターンよりUターンの方にこれからは、今の学生（中・高・大学生）の人と一緒に街づくりに参加してもらい、黒石の良い所、都会でのつながりをもっていて、もし黒石に帰ってきたら、すぐ活動できるように受け入れるような体制を作り、帰ってきて街づくりに参加できるように若いうちから社会と関わられるようにして欲しい。</p>	<p>○ 現在、児童に対して黒石を知ってもらうための景観学習を開催しているほか、まちづくり団体や市民、大学生等による伝統的建造物群保存地区の「松の湯交流館」をどのように活用していくか、ワークショップ等を通じて議論しているところであります。</p> <p>また、「まちなか」を活性化し、「まち育て」していくために、NPO法人の設立や運営団体の活動支援など、受け入れ態勢の整備を進めているほか、市民がまちづくりに参加できるような環境づくりを進めていきます。</p> <p>○ 36ページの地域力（黒石力）向上事業により、「特色ある地域活動」を継続するために、地域のリーダーとなる人材の養成・発掘す</p>

			るための講座を開催します。
3	総合戦略	○ 黒石だけではなかなか難しいので、ぜひ平川市、藤崎町、田舎館村と一緒に盛り上げてみてはどうか。JR 東日本でトランスイート四季島という、汽車が弘前を通る予定なので、一緒に考えてみてはどうか。	○ 「トランスイート四季島」については、近隣市町村の他、JR等民間団体に組織する協議会でも、先般の会議で話題に上がっており、今後、運行開始が現実味を帯びてくる2017年春に向け、広域連携の立場も含め、ご提言の趣旨も踏まえながら、その対応を検討して参ります。

今回の意見募集では、その他下記のようなご意見をいただきました。今後の市政運営の参考とさせていただきます。

No.	区分	ご意見の概要
4	総合戦略	今後の方向性（16ページ） ○ 「松の湯交流館」について、受付にもっと工夫があってもよいのではないか。その場に座っているだけでなく、外に出て観光客らしき人に積極的に話しかけ、こみせを案内したりして欲しい。ハードが出来たのにソフトがとてもサービス業と思えないし、本人は思っていないと思う。
5	総合戦略	新しい公共について（35ページ） ○ 本当に行政の人は、共助の精神で活動してくれるのか。黒石のねふた、よされと大事なイベントあり、先日りんごまつりがありその時、なぜ、市のまちづくりの講習会（ワークショップ）をやるのか。市民が一体になってやらないのか。「黒石力」が空回りである。絵に描いたもちである。
6	人口ビジョン	地区別人口の推移（6ページ） ○ なぜ追子野木地区は人口が増えたのか。